

総務部長の仕事宣言！ 進行管理表

総務部長 野田 寿

①リープロの名称	市民に信頼される市役所づくりプロジェクト
②目標値	自主防災訓練回数 24回/年 職員研修受講者数 1,000人 実質公債費比率 現状維持(平成26年度11.5%)
③今年度の目標	①業務継続計画の庁内共有化を図るとともに、災害発生時の各種マニュアルの整備を行う。また、町区単位と並行して地区単位での防災訓練も実施していきます。 ②基本的には職員研修プログラムに沿って、内部・外部研修を含め、職階に応じた研修を実施していきます。27年度から3か年で全職員対象に普通救命講習、認知症対策講座、女性対象にキャリアアップ研修を行い、29年度は新規にコンプライアンス研修を追加します。 ③将来の歳入、歳出及び地方債管理の見通しを立てながら、新規・既存事業の費用対効果、必要性の検証を行っていきます。
④上半期の取組内容	①避難所運営マニュアル策定に向けて整理を行っています。上半期において防災訓練は町区単位11か所、地区単位1か所実施しました。 ②職員研修は上半期、普通救命講習、認知症対策講座、女性のキャリアアップ研修を含め27種の内部・外部研修を実施し、延べ359人が参加しました。 ③財政計画について各課ヒアリングを実施しました。
⑤下半期の取組内容	①避難所運営マニュアルは3月を目途に策定。下半期において防災訓練は町区単位8か所、地区単位1か所実施しました。 ②職員研修プログラムに沿って、42種の内部、外部研修を実施しました。また、今年度、新たにコンプライアンス研修等実施しました。 ③財政運営について、将来の見通しを立て、予算編成にあたりました。
⑥数値目標の結果	自主防災訓練回数 19回/年 職員研修受講者数 1,075人(見込値) 実質公債費比率 8.4%
⑦成果と課題(次年度に向けて)	①防災関係マニュアルの整備を引き続き行います。自主防災訓練は、自主防災組織を中心に町区に実施を促していきます。 ②職員研修は、効果的なメニューを検討していきます。 ③財政運営は、将来負担となる各事業費の精度を高め、見通しを立て、維持可能な財政運営に努めます。

◇副市長の指示

上半期

- ・策定済みの業務継続計画については関係各課と日頃から意識の共有化を図っていくこと。また、避難所運営マニュアルについても関係各課との協議・連携を進め、その策定に努めること。

下半期

- ・危機管理に対する職員の意識醸成も踏まえながら、防災関係マニュアルの整備に取り組んでいくこと。
- ・今後控える大型事業を踏まえた将来負担を見通し、持続可能な財政運営を維持していくこと。